

# デジタルアートアワード再募集のお知らせ

## ー「土湯こけし」を知ることから始まる、デジタルアートー

このたび開催いたしました令和8年4月～6月に開催する現代アートの芸術祭「アラフドアートアゲイン」で展示するデジタルアート作品の募集に、多くのご応募をいただき誠にありがとうございました。

土湯温泉は、日本三大こけしの発祥の地であり、伝統工芸「土湯こけし」の郷でもあります。2025年3月には、「土湯伝統こけし製作技術」が福島市指定無形民俗文化財に指定されました。こけし製作技術の文化財指定は、全国的にも初めての事例です。

本アワードではそのような土湯温泉町が誇る「こけし」をテーマとして作品を募集しましたが、応募作品を拝見する中で、土湯こけしを題材に制作をされている作品の応募数が少なく、土湯こけしについての認知が、土湯温泉町の想定よりも十分に広まっていないことが明らかになりました。

この事実を真摯に受け、協議し、私たちは土湯のインフォメーションセンターに展示をするこの公募展で、土湯こけしを扱っていただけるように、今回の事態を土湯こけしの魅力を知っていただく機会として改めて取り組みたいと考えました。

土湯の伝統こけしは、頭が小さめで胴体が細いのが特徴。頭頂の蛇目模様と、長くおろした前髪に左右の赤い髪かざりが描かれています。胴の模様はロクロで描いた線を中心に、簡単なものが基本です。目はクジラのような切れ長で、たれさがった鼻、おちょぼ口の明るい表情をしています。頭を胴にはめる「はめ込み式」で、首を回すとキイキイと音を立てるのが愛らしくあたたかみがあり、多くの人に愛されています。

この土湯こけしの特徴をご確認いただいた上で、2026年4月10日から5月末日まで、デジタルアートアワードを再度開催し、土湯こけしを扱った作品を募集いたします。今回のご応募は期待した結果に添えずに誠に申し訳ありません。すでに応募いただいた方の再応募も歓迎いたします。4月から始まるアラフドアートアゲインのNFTチケット2名さま分をプレゼントいたします。もう一度チャレンジいただくと幸いです。

つちゆ芸術万華郷実行委員会 実行委員長  
佐久間輝

アラフドアートアゲイン 総合ディレクター  
ユミソン

\* NFTチケットは来場時にインフォメーションセンターでお名前を頂戴し、発行いたします